

かんきょうを 考えるコーナー

環境課

環境キーワード

自然エネルギー

小規模水力、太陽熱、風力、潮力、波力、バイオマス(生物を用いたエネルギー)など自然エネルギー源を言う。大気汚染物質や温室効果ガスの排出が少ないほど環境負荷が少ない。
また、化石燃料と違って枯渇の心配もない。日本では自然エネルギーや廃熱利用などの新エネルギーの開発が進められています。

池田町緑のカーテンコンテスト実施

今年も多くの方の皆さんに「緑のカーテン」を楽しんでもらおうと、次のとおりコンテストを実施させていただきます。

写真には人物などが入っていても構いません。皆さん気軽に応募してください。

なお、写真を撮ってほしい方はお電話くださいば撮りに伺います。(もちろん無料で)

記

対象：町内の住宅や事業所

応募方法：Lサイズの写真を1枚提出(こちらで拡大カラーコピーして展示します)

提出先：中央公民館、窓口(応募箱あり)

受付期間：8月1日(木)～8月30日(金)

その他

- (1) 景観・規模、効果など優秀な事例10点には景品を贈り、イベントなどご紹介させていただきます。
- (2) 応募写真はすべて、9月3日(火)～9月30日(月)の間、中央公民館ロビーに展示いたします。
- (3) 応募者全員に粗品を差し上げます。

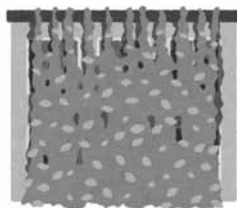
主催：四つ葉会

後援：池田町

連絡先：四つ葉会代表

窪田弘子

☎45・4591



環境美化推進員委嘱式を開催しました

今年度の委嘱式は、4月12日(金)から各地区公民館6会場それぞれに開催し、推進員合計319人の方に委嘱しました。

今年度は、家庭ごみの排出量を年間116トンの減量や、南部リサイクルセンターが4月より稼働した事により、リサイクル資源を年間23トン増量する目標に関する研修を受けられました。持ち寄り回収廃止に伴い、各地域での集団回収のお手伝いや、分別指導など、リサイクルの推進とごみの減量化につながる地域のリーダーとしてご尽力いただきます。



▲1年間よろしくお祈りします

ごみの分け方・出し方保存版について

4月号において、各家庭にごみの分別ポスターを配布しました。

「プラ容器」を「プラマーク」に変更しました。これは「容器包装リサイクル法」以外のプラスチック製品の混入をなくすためです。商品を包んでいないプラ製品は、プラマークがありませんので資源ごみではなく、その他可燃物の日に出してください。

今月の

Environmental Day

本年4月1日より、新しく南地区に「南部リサイクルセンター」がスタート。今までは、遠くて利用されなかった方も利用され、回収率が増加するのではと、楽しみである。
物置の新聞紙、ダンボール、古着等々を整理して、リサイクルセンターへは、ご主人が運ばれたという、友人のIさん。「さつぱりしました」電話の声もさわやかであった。

平成30年度

環境ポスター、標語作品展における優秀作品

・めんどくさい その一言が地球をこわす

池田小学校六年生 伊藤 柚歩

・省エネは ひとりひとりの 心がけ

八幡小学校五年生 竹中あかり

・プラのゴミ 減らし 地球の大そうじ

温知小学校四年生 所 真生

・もったいない ママの口ぐせ 大事なことは

池田小学校三年生 伊藤 櫻雅

未来の地球を守ることができるのは、今を生きている、私たちだけ。

●出前 EMボカシの不思議

日時 5月7日(火)、5月14日(火)、5月21日(火)

会場 午前9時30分～正午まで 北部リサイクルセンター

●問い合わせ NPO法人 Waコミュニティ

(石井) ☎45・3580、

角田 ☎45・2039) まで

●EMボカシ販売所

J A いび川グリーンステーション ☎45・0210

中村種苗 ☎45・2265

中野種苗 ☎45・4851

富士屋種苗 ☎45・6087